

彦とはすぐれたおとこの意。てんひこは豊かな未来を創造する者たちの集団である。



てんひこ

発行所 **株式会社天彦産業** 大阪市住之江区南港南5丁目1番72号 TEL (06) 613-2361 (代)
編集発行責任者 T.H.グループ (大橋 佐藤 村上 松嶋 梅北 西谷 北濱 高岡)



TH運動

- 常識を破れ
- 本質に迫れ
- 隠れた力を出せ

「新天地一年を

経過して」

代表取締役社長

樋口克彦

東大阪より南港に本拠を移してから、一年有余が経過し西ドイツ製紙型帯鋸盤の新設を最後に、当初計画設備は概ね完了しました。

大海原が一望できる白い新社屋で、大きなひろがりを持つて、このハードの上にどの様なソフトを生み出すことができるか、天彦産業の未来に夢を駆けめぐる幸せを感じております。

国内のお取引先だけでなくNIE Sを中心に、海外にも多くのお取引先に恵まれている我社と致しましては、世界に広がる海を眼前にして国内外の結びつきを利用して事業展開の可能性は、同業他社に比して、優位な位置にいるものと思われまふ。

社員一人一人が情報収集と

能力開発に努め、発想力と行動力を高めることによってのみ、これを生かすことができるものと信じております。

にスムーズに行われ、我々を取り巻く環境も、粗鋼が一億トンを超えるという好調を持続しております。

昭和六十三年度よりTH運動にのっとり、(一)営業・現業の一体化組織作り、(二)船井総研の営業・貿易指導、(三)定期昇給から能力アップ昇給への移行、(四)図書券の支給、(五)ベスト・ブービー社員の選定、(六)管理者研修(社長講師)、(七)一般社員研修(管理者講師)、(八)QCサークルの誕生、(九)会社案内・入社案内の作成、(十)人材獲得の強化等、新しく実施しました。

この恵まれた環境の中、大いなる飛躍を目指し、全社員の持っている能力を引き出し、そしてより向上させる目的でTH運動を展開してまいりました。

従来より継続しております幹部会・NT会・各委員会活動とあいまって、よりお取引先の皆様のお役に立ち、そしてより豊かな、より希望の持てる明日の天彦造りを、果さなければならぬと思っております。

とはいえ、TH運動の真髄である「常識を破れ」「本質に迫れ」「隠れた力を出せ」は、未来の常識を先取りし、企業の社会性を大きくし、自己実現への道を目指す大きなうねりとなり、我々の前途をより確かな、より可能性の大きなものにしてくれるものと確信しております。

日本経済は厳しい円高対応を迫られ、輸出志向型から内需重視型への転換が予想以上

にスムーズに行われ、我々を取り巻く環境も、粗鋼が一億トンを超えるという好調を持続しております。



「創造的人材育成」

常務取締役 樋口友夫



内需景気拡大に鉄鋼界は好調の波に乗り、今期も粗鋼一億トンを超える見通しだが何故か有頂天になれない。これが業界内部にいる者全てが感じていることではないだろうか。我社も上期は完全に波に乗ったとは言えないが、まずまずの業績だった。しかしながら、今期から導入した船井総研の指導による要因が大きい。即ち形から入ったものでその本質に迫るには未だほど遠い様に見える。下期は本質に迫る必要がある。それには二つあげたい。一つは商品戦略の確立で、長期在庫の削減と適正在庫の確立、拡販商

品の充実をしなければならぬ。現行ではムダな在庫、場当りの発注があり、その全てが過去の経験を優先した概念で行なっていることにある。

もう一つは、売掛金の回収の完全化である。クレーム処理の長期化、契約の不徹底、インプットミス等、その原因の大半が社内にあることに注目すべきである。この問題にも過去の悪習慣が台頭している所が多い。この二つの問題を解決するにはどうしても人材のレベルアップが不可欠である。某氏が「優秀な社員は必ず会社で利益を生む。だから投資するのだ」と解いておられるが、私も同感である。固定概念を捨て、具体的本質論だけを採用し、創造的人材育成をポイントに下期の充実を果したい。

上期を振り返って

薄板・帯鋼グループ 課長 山川隆男



今期、営業・現業の一体化が計られた中で本当の意味での一体感が得られたのだろうか？上期を振り返って特に反省させられる点の一つとしてこの問題が挙げられる。在庫商品の把握という点においても商品の発注から入庫・出庫までのプロセスの中で全員がそれぞれの立場で責任を持って管理が出来たであろうか。確かに定板ヤードに関しては商品別看板の設置や通路の確保等の実績は上がったが、実際の流れとしては各担当が個人プレーをしていたのではない。常に商品を見ながら販売出来る利点が最大限活用さ

れなかったともいえる。加工残の処理に関しても営業担当がそれぞれに活用する為現物との違いが発生し、ある筈の物が無いという事態が発生した。これも現場サイドでのキーマンの不在による悪影響が出たと思われる。

下期は上期の反省をバネとして今一度、一体感を計りたいと考えます。グループのレベルアップの為、常に今の自分達の常識を破り、より働きやすい職場とお客様から信頼される天彦産業を目指して一致団結、隠れた力を出していきたいと思えます。

「上期の反省」

下期の目標

厚板・条鋼グループ 課長 森田祥一



に売上げ管理と納期管理を掲げて、上期を過ぎましたが、納期管理の面で得意先の皆様に充分満足頂ける事が出来ずこの問題は全員の課題として下期も引き続き実行する考えであり、下期中に必ず納得出来る答えを出すつもりです。又、今期のもう一つの課題である品質管理に関しても全員で対処する事が必要ですので、この問題も下期に掲げ我社の品質管理を造りあげる事を課の目標とします。

又、個人的な問題として上期は色々な問題がありました。下期は数字の管理が出来る様に、まず仕事に對しどの数字が必要か理解し、資料を基に色々説明が出来るようになります。又、社内の行事にフル参加して、社員すべてに信望を得られるよう、自分の成長の度合を計りたく考えております。

私の活動目標として、上期



「円高に負けない強靱な 体力と精神力を養おう」

取締役貿易部長 宮田康之助



かった。このことは、仕事は
まかせたのだが手段と方法に
ついては完全に徹底されてい
なかったことが要因のひとつ
ではないかと思われる。

下期の目標として、この上
期の反省を徹底的に分析し、
「販売計画の目標達成」と
仕事まかせを完全に実施し
たい。しかし今期もまた、円
高というやっかいな問題が起
こってきた。計画の段階では
円高はある程度予想していた
が意外にも早く来た。私の予
想ではアメリカ大統領選挙以
後の一月頃からだと思ってい
たが、しかし貿易部としては
円高を気にしては何も出
来ない。近々、一一〇円台が
必ず来るだろう。それには輸
入を拡大することが先決。円
高に負けない強靱な体力と精
神力を下期の間に養っておか
ねばならない。

上期、貿易部は今までの体
質を一新し、明確な計画、そ
れに共なう資料作りの徹底を
行なうことに重点を置いてス
タートした。その結果、除々
にはあるが改善されてきた
ことは事実である。しかしな
がら、この事は完全に達成し
てこそ、真の貿易部の目標達
成となるので、より一層努力
していきたいと思う。そして
部下への・仕事まかせ・を実
行し、貿易営業マンを育てる
ことを目標とし、それを重点
的に行なった。又、売上面に
おいては六十二年度同期より
も約一億五千万円増えたが、
利益面では予想以上に伸びな

「二つのムダの排除」

取締役管理部長 宮田荘一



事後管理だけでなく、現状
認識を正しく持ってあらゆる
部門に働きかけていく管理を
目指して進めてきた焦点は、
ムダの排除であった。それは
大きく分けて、

- (一) 情報のムダ
- (二) 仕事のムダ
- (三) 経費のムダ

と考えた。すなわち情報には
逃げてしまった情報と、そば
に有りながら知らされない情
報があり、仕事には不要な仕
事と、二重の仕事があり、経
費には見えない経費と、節約
すべき経費がある。これらの
ムダを追求し認識し排除する
ことにより業績の向上に深く

かわっていく事が働きかけ
ていく管理と考えた。

情報の伝達、不要な仕事の
整理、見える経費の節減につ
いてはスタッフ全員、活動目
標に掲げ着々と実行し成果を
あげて来ている。しかし逃げ
た情報の収集、二重の仕事、
すなわち違算の撲滅、見えざ
る経費すなわち不良在庫の一
掃や回収率向上については追
求し認識まで至っていると思
われるが、完成には程遠いと
言わざるを得ない。

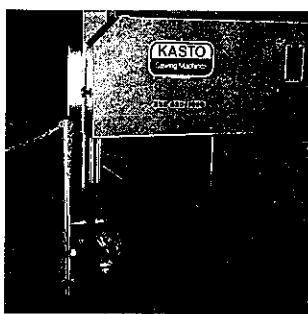
独算別の実の目的は固定費
の正しい把握と節減により、
業績向上を目指し、努力の結
果が正しく評価出来る様にす
ることに他ならない。管理の
活動目標もこれに向って進ま
なければならぬ。それには

経験と知識による答えの用意
された仕事のみならず、むし
ろ未経験（新しい発想）と知
恵で答えを造り出す仕事が出
来る様な組織の活性化にも取
り組んでいく必要があると思
う。

「大型縦型帯鋸盤導入」

本格稼働を開始！
即納体制を強化！

新設した大型縦型帯鋸盤は
西独・カスト社製の鋸盤で最
大切断板厚六二〇ミリ、最大
切断幅一〇六〇ミリ、最大長
さ六一〇〇ミリの切断加工能
力を持ち、又切断スピードも
一分間に最高二七〇ミリと速
いのが特徴で今回の新設によ
って即納体制が一段と強化で
きる。尚この鋸盤に投じた費
用は約六千万円で、今後、S
55CN、NKG93、NKD
61、NKE3の鋼種を切断加
工をし、御客様のニーズに応
えていきたいと思っております。



“ 各自の

レベルアップ ”

本質に迫る！

ヒラメキ委員会

今期のヒラメキ委員会は、

社員一人一人のレベルアップ

を目的にスタートした。毎朝

の朝礼では従来の内容を一新

したテーマを創り出し、表面

的な話題より中味（話のポイ

ント）をいかに解り易く発表

できるかを重視してきた。

その為に今まで以上に朝礼の

前の下準備にみなさん力を入

れられた様です。ポイントの

つかみ方（本質に迫れ）では

能力アップしたと自負してい

ます。又他にも会社より支給

される図書券での月一冊の図

書登録の実施。下期の課題と

して登録された書物をどう役

立たせていくかがヒラメキの

課せられた役割りです。

ハツラツ委員会

今年度の活動目標は、社員

全員の健康管理・体力向上・

健全な人づくりを目的として

活動をしてきましたが、ハツ

ラツ委員会「ジョギングとい

うように、代名詞的に委員全

員があぐらをかいている感が

ありますので、T.H.運動にも

掲げられている様に「本質に

迫れ」をテーマに委員会のレ

ベルアップを目指し、活発な

運営をしていきます。

下期の抱負として、鉄商健

康保険組合などのイベントに

積極的に参加し、情報を提供

し、企画していきたいと思っ

ます。

今後の企画として考えてお

りますのが献血であり、社会

的にも貢献していきたいと思

います。今後も皆様のご協力

をお願い致します。



（ボーリング風景）

安全「心のゆとり

スッキリ委員会

スッキリ委員会上期活動報告

◇当番制早朝掃除の充実

◇月一回、全員参加の大掃除

（夏場は、草引きを強化）

◇スッキリ大賞（美化部門）

の選考

◇安全運転講習会の実施

右記の様に、上期につきまし

ては、主に美化面を中心とし

た活動が多く、下期に向かっ



（草引き風景）

では、我々スッキリ委員会の
もう一つの柱、安全面の活動
を積極的に取り組んで行きた
いと思います。そして今後の
活動内容と致しましては、薄
板帯鋼グループ、厚板条鋼グ
ループ両グループのQCサー
クルと協力し、倉庫内の安全
対策及び整理整頓を強化して
いきます。その他、事務所内
の机の中の整理整頓を心掛け
る為、抜き打ち検査の実施、
各人に点数評価する事を考え
ています。

「個性の発揮」

T.H.グループ

今年度、T.H.グループとし

て初めての新聞が発行され、

もう五ヶ月がたちました。我

々もいろいろ考え他社の方々

に天彦産業を理解して頂き

かったのですが、いま一歩何

かが足りなかった気がします。

下期の活動については、我

社が行なっているQC活動や

各委員会の活動をより一層他

社の皆様に御理解して頂ける

様、写真等を使いアピールし

ていきたいと思ひます。又、

「これが天彦社員だ」とい

う題目で、個々の社員のあら

ゆるデータを収集し、まとめ

ていきたいと思ひます。この

データも近いうちに皆様に発

表したいと思ひます。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 「天彦各賞」発表 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

月間ベスト社員

この賞は、今年の四月より設けられたもので、その月に目立った活躍をした人に贈られる賞です。投票は全員で行

ない選ばれます。毎月選ぶことにより、天彦全社員がベスト社員を目指し、今までと違った意気込みが出てきたと思います。

今回は、上半期ベスト社員六名を紹介したいと思います。



(四月～九月までの受賞者六人)

☆ 四月度ベスト社員

薄板・帯鋼グループ

中居光世

受賞を素直に喜び、又、支えて頂いている他のメンバーへ感謝しています。今後は、より真面目に前向きに取り組む仕事への貢献度で勝負したいと思っています。

☆ 五月度ベスト社員

貿易部

大橋 浩

ベスト社員に選ばれて本当にうれしく思います。今後も何事に対してもベストをつくして、本当に選んでよかったと言われる様、がんばっていきます。

☆ 六月度ベスト社員

薄板・帯鋼グループ

大津卓見

委員会活動を通じて、皆様にアピールする事をベスト社員獲得のテーマとしました。今後も、委員会活動には積極的に取組み、二回目の受賞を狙いたいと思います。

☆ 七月度ベスト社員

市場開発課

杉原信良

選ばれる責任と選ぶ責任を七月度ベスト社員を受賞し再認識しました。次回は、具体的成果をひっさげて、再度獲得したいと思っています。

☆ 八月度ベスト社員

厚板・条鋼グループ

上田 学

私がベスト社員に選ばれた理由は、納期管理を徹底した事だと思っています。今後も、皆様の期待に応えられる様、心がけていきます。

☆ 九月度ベスト社員

厚板・条鋼グループ

北尾修一

自分自身、何事に対しても前向きに考えていったことがこの賞を頂いた要因だと思えます。今後も、積極的に取組む姿勢をアピールしていきます。

「朝礼大賞」

北尾君の手に

主催 ヒラメキ委員会



(みごと受賞の北尾君と峠谷さん)

今期第一回目の「朝礼大賞」

大賞に北尾修一君、二位に峠谷友紀子さん、三位に高岡美佐さんに決定しました。

大賞テーマは、急成長した企業紹介で、審査項目は、「成長した理由がわかったか」、「話の組み立てが良かったか」など。紹介された企業は、北尾君がフォード、峠谷さんが日本マクドナルド、高岡さんが日本ケンタッキーフライドチキン。

次回は二月の予定。

上期スツキリ大賞

企画管理部に決定

主催 スツキリ委員会

上期スツキリ大賞(美化部門)を選考する基準として、毎日の掃除当番、月一回の草抜き、ロッカー内掃除参加態度を検討させて頂きました。個人的に名前をあげていきますと、いずれも管理部の皆様が上位におられ、美化に対する日常の意識が高いとの委員会メンバー全員一致で評価いたしました。



(企画管理部フロアー)

「日新・周南製鋼所

を見学して」

市場開発課

係長 杉原信良

ステンレス鋼の生産量は、八十八年に入り国内需要増に支えられ好調に推移し過去最高となっている。

天彦産業としても付加価値の高い商品を取り扱い販路を創り拡大していかなければならない。

ステンレス鋼は、日新製鋼において表面処理と並び、二本柱の一つで日本の生産量の第二位をしめている。その基盤を最大限に活用し自らマーケットをつくり、販売していく考えであります。

周南製鋼所訪問の目的は、ステンレス鋼が製品化する迄のプロセスを見学する事であるが、現在のメーカーの生産状況や最先端技術のノウハウまで学ぶ事が出来た。第一印象としては、ステンレスのイメージ通りのクリーンな製鋼所でありました。

各工程の中で一番印象深かったのは、連続ラインである。

全てが自動化、省力化がなされている。熱延コイルから一

気に製品化する全長四百メー

トル強のラインを、六人で操

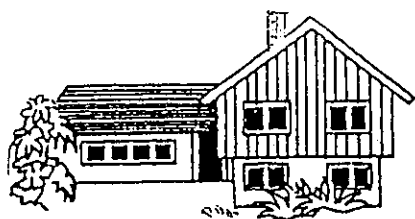
作しているのには驚かされた。

又、連続焼鈍酸洗設備の出現は、従来のベル型焼鈍に代わり作業効率を一気に向上させたに違いないと感じた。

ステンレス研修・見学まで日新製鋼様の御指導に深く感謝しており一日も早く実績を上げ、御恩に報いたく活動していきたいと思ひます。

将来は、営業マンとして、自分の力を思う存分發揮し、活躍したいそうです。

近々結婚する彼、今後の活躍を期待しています。



新入社員紹介

北濱 隆 (A型)

昭和63年10月3日入社

厚板条鋼グループ所属

昭和三十七年四月二日生まれ

の二十六歳。

両親と弟、妹さんの五人家族です。

好きなスポーツはスキー、サーフィンで、夏も冬も大忙しです。又、趣味は音楽鑑賞

でなかなかの現代っ子です。人見知りをしない陽気な性格で、少し短気な面もあるそうです。

将来は、営業マンとして、自分の力を思う存分發揮し、活躍したいそうです。

近々結婚する彼、今後の活躍を期待しています。

現在、ショッピングをしているので早く今の仕事を自分のものにしたいという事です。



楠本 邦男 (A型)

昭和63年9月12日入社

薄板帯鋼グループ所属

昭和三十二年四月二十二日生まれ

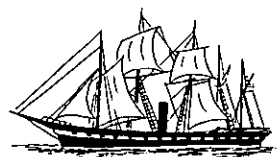
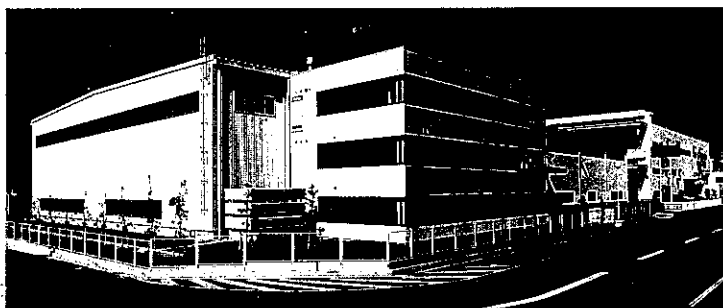
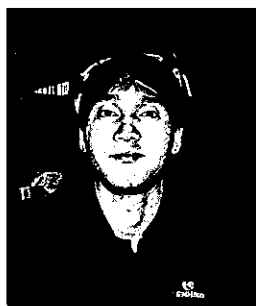
の三十一歳。

奥さんの昌弓さんと小学生の男の子、女の子の四人家族です。

趣味は釣りで、特に磯釣りが好きで休日にはよく出かけるそうです。短所は人見知りをするそうですが、性格は明朗でユーモアがあり、友達を大切にするという長所の持ち主です。

現在、ショッピングをしているので早く今の仕事を自分のものにしたいという事です。

一見、歳よりも若く見えますが、行動力のあるファイトマンです。これからの活躍を期待しています。



QCサークルの研修を受けて

薄板帯鋼グループ

中居光世

厚板条鋼グループ

武田恒夫

この度、私が受けました研修は、「入門コース」ということで、時期としても、サークル活動を始めて約五ヶ月目であり、活動を通じて生じた矛盾点、意識のズレ等があっただけに、初心に帰るという意味でも絶妙のタイミングでした。参加者二十五名、各業界から立場を超えて、一つの事に取り組む真剣さには思わず緊張をせずには居られません。幸いに、事前に書物等を読んでいる為、講師のいろいろな経験談と合わせ非常に有意義であったと思います。結論として我サークルに必要な事はQCに臨む姿勢として「意識管理」と「SQC(統計的品質管理)」、俗にいう意識の持続とデータで話をする、この二点に絞られ、これらがサークルの命運を左右すると思います。

我社でもQCと名のつく活動がいくつかのグループで行なわれていますが、私も含め本当に理解し参加しているかとなると疑問です。この講習では、QCの必要性を学んだ後、QCの七つ道具(特性要因図、グラフ、パレート図等)を用いて、実技訓練を行ないました。我々流通業では製造業と違い、なかなか具体的な問題を挙げにくかったのですが、考えてみれば、流通業では人材が一番大事であり、それにかかわる問題点、改善点があった以上に沢山あると、再認識しました。講義を受けた我々がサークルのリーダーとして、従来より少しでも的を得た方法でQCサークルを運営していきたいと思っています。最後に、サークルが存続していく為には全員参加が絶対必要です。

第12回

スカイブルー会

ハイスチール株式会社

岡田氏優勝

去る十一月二十六日(土)近江カントリー倶楽部にて、初参加三名を含め二十二名で強風の中の激戦となった。今大会は強風の為、各選手共に日頃の力を出しきれずスコアの伸び悩みが目立った。優勝を手にした岡田氏は、強風をものともせず、パワーで二度目の優勝を飾った。戦績は以下の通り

(NET)

優勝	岡田	(ハ)	80
二位	伊藤	(日)	82
三位	上田	(天)	83
四位	北尾・五位	永松・七位	郷田・天彦賞十位
宮田(荘)・BB	武田・DC	永松②	北尾
樋口	(友)・NP	森田	上田
中山	樋口(克)	以上	

注(ハ) ハイスチール(日)
日新製鋼(天) 天彦産業

天彦野球部

☆ ☆ ☆
初勝利

遂に、やりました我ら天彦野球部は、十月一日東中本球場でサンキ(株)との対戦において、十一対五というスコアで初白星を上げることが出来ました。勝因としては、野球部結成以来初登場の背番号十八番の社長の存在が全部員を本気にさせ、勝たなければ後で何を言われるかわからないという事です。対戦相手のサンキ(株)様本当にありがとうございました。

ハッツラツ委員会主催
第一回ボーリング大会
優勝峠谷女史にノ

昭和六十三年、十一月十二日、ヒラメキ委員会主催の第一回ボーリング大会が行なわれた。今回は来期入社予定者も含め、個人、団体、優勝を目指し熱戦が繰りひろげられました。優勝は、予想通り?企画管理部の峠谷女史が、圧倒的な強さを見せ、又、二位には、円高にも負けず宮田貿易部長が入りました。成績は以下の通り

優勝	峠谷	615点
二位	宮田(質)	528点
三位	岩崎	511点
(ハンデ)	峠谷60、	
宮田30、	岩崎30)	

団体優勝
企画管理部・貿易部

ハッツラツ委員会



(見よ!社長のすばらしい姿)

佐藤浩一氏結婚！

昭和六十三年、十月八日、

玉姫殿にて、樋口社長夫妻の御媒酌により、めでたくゴールイン致しました。新婦成子さんは、沖縄県出身で明朗な性格を持った女性です。これから二人仲良く明るい家庭を築いて下さい。そして早くかわいい赤ちゃんを……。

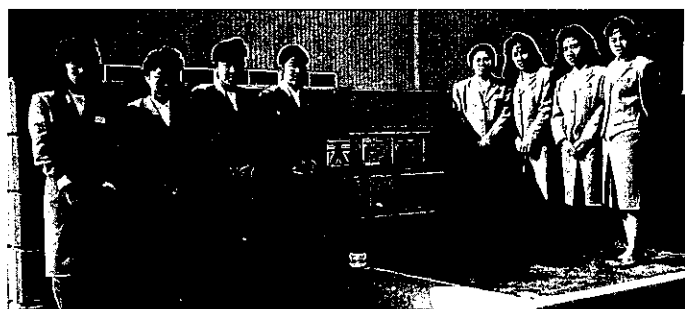
期待します！



天彦女子社員の制服一新

制服一新

今年の八月より女子社員の制服が以前の紺のジャンパースカートから一新して、チェックの三点スーツになりました。女子社員の意見が全員一致で決定したデザインだけに皆さん気に入っていて、男性社員の評判もなかなか良い様です。そこで、新しい制服に変わっての感想を聞いてみると「お洒落になって社内ムードが明るくなった」というのが圧倒的で、他には「以前よりも身だしなみに気をつけるようになった」とか「姿勢が良くなった」などという声もあり、女子社員の意識の改革にも役立ったようです。ただひとつだけ「スーツになって体の線が出るので、体型の変化に鋭く反応されるのが困ります」という難点があるのですが……。



(天彦美人八人衆)

三大阪鉄商保険組合主催

ボーリング大会初参加

十月三十日、健康保健組合主催のボーリング大会がボウルメイト京橋において催された。競技は個人戦・団体戦で行なわれ、結果、惜しくも団体では上位入賞は果たせませ

んでしたが、個人戦・女性の

部では、我社のミス天彦であります峠谷友紀子嬢が、見事二位に入賞いたしました。さすが、スポーツウーマンなかなかのものでありました。

我々ハツラツ委員会ではこれからも、社員の健康管理や体力向上に細心の注意を払っていくことを心掛けていきます。



ハツラツ委員会

懸賞クイズ

今回、第十二号懸賞クイズについては、毎回応募数が低い為、ぜひ皆様の多数のご応募をグループ全員でお待ちしております。

??????

？ 問 題 ？

我社が新しく導入した縦鋸「カスト」の最大切断能力は板厚？%・幅？%でしょうか。

応募方法

ハガキ又は当社所定用紙にて左記宛までお送り下さい。

送 先

五五五九

住之江区南港南

五一一七二

㈱天彦産業 クイズ係

※FAX可

〇六一六一三―二三六七

締切り

一九八九年 二月二十八日

賞 品

テレホンカード 十名

「編集後記」

今回は、天彦産業で行なわれている活動を中心に載せてみました。

今後より一層頑張っていくしだいでありますので、ご声援よろしく願います。

THグループ一同